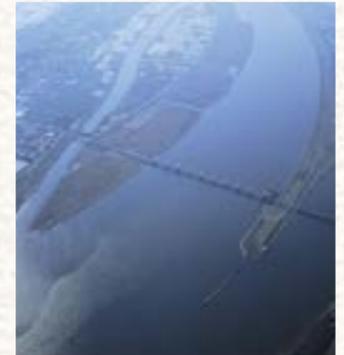


Cover Photo



利根川河口堰  
右岸:千葉県香取郡東庄町  
左岸:茨城県神栖市

## CONTENTS

- 02 すい滴 水のありがたさ  
2021ミス日本「水の天使」 嶺 百花
- 04 特集 利根川河口堰五十周年  
～今昔物語～
- 08 連載 江戸期の水の技術者 群像  
第2回 二人の家老:  
土佐藩 野中 兼山  
佐賀藩 成富 兵庫
- 14 トピックス  
未来へうけつごう  
日本のきれいな水
- 18 連載  
気象キャスターが解説! 天気のみカタ  
第26回 線状降水帯  
気象キャスターネットワーク 山根 収
- 20 水機構ニュース
- 22 第36回  
“水とのふれあい” フォトコンテスト  
入賞作品
- 24 今号のピックアップムービー



水の広報官として、自然の恵みである水循環と豊かで清廉な水を守る人々の心と技に触れ、培った知識と体験を広く伝えて、水に対する人々の意識を高める活動を担っています。



2021ミス日本「水の天使」

みね もも か  
嶺 百花

2021ミス日本「水の天使」の嶺 百花です。

私自身、「水の天使」という役職にくまで、実は水業界について改めて考える機会がありませんでした。しかし、思い返すと様々な場面でお世話になっていたんです！

例えば中高時代。

六年間チア部に所属し、現在も体育会ゴルフ部に所属するなど、スポーツと隣り合わせの生活を送ってきた私にとって、水は、部活後の疲れた体を癒してくれる大切な存在でした。チア部の体育館の横には二つの給水器があり、部員五十二名が部活の終了を告げる、キャプテンからの「これで終わります」の一言を皮切りに、一斉にその給水器に向かって走ります。“練習がもう終わりそうかな？”と雰囲気を感じた部員が、体の重心は残したまま片足を下

アの方向に向け、気づけば給水器の前には長蛇の列。まだか、まだか“と長い列を待った末に口にした水を飲んだ際の爽快感がたまりません。空気がこもった体育館の中で肩と肩が触れ合うほどの距離で踊り続けることで砂漠のように干上がった体を潤す、まるでオアシスのような存在でした。

そして最近の趣味にも「水」は繋がってきます。先日、神奈川県、平塚の庄三郎丸という船で釣りに行ってきました！サバ十二匹・アジ十六匹の入れ食い状態の大漁で、塩焼きにして家族で沢山海の恵みをいただきました。新鮮な魚が育てるような綺麗な海が整備されているのも、水業界の方々のお陰です。身近な趣味から皆様のありがたさを実感致しました。

このように、自分の気づかない様々な

場面で「水」に支えられています。皆さんも、もしお時間があったら、自分自身の人生を一度振り返ってみてください。思わぬ場所で水業界の皆様のありがたさを実感出来るかもしれません。

